



やり切った みんな輝いた 腹の底から笑った ～東中祭を終えて～

10月27日(金)、28日(土)にスローガン「奮醒豹爛舞～再び我らの Show time～」のもと東中祭を盛大に行いました。このスローガンには「体育大会で培った団の団結や想いを再び」といった意味が込められていました。この東中祭は昭和59年、今から33年前に始まりました。また、みなが真剣になって取り組む合唱コンクールはその3年前から始まりました。その歴史ある東中祭で、新生徒会が掲げる「東中ライト」における「東中生一人一人がそれぞれの場所で輝く」そんな姿が随所に見られました。

東中祭を終えて 実行委員長 溝口莉子 (3-5)

私は東中祭実行委員長として、全体で盛り上がり楽しんだりできる東中生を改めてすごいと感じました。

合唱コンクールでは、私のクラスは気持ちが悪くすれ違ってしまふことも多くありました。でも、最後にはクラス全員が気持ちを一つにして歌うことができよかったです。結果は残念でしたが、全力を出すことができたので笑顔で終わることができました。

あなたが主役部会として、私は幕間に生まれ

た。練習では、幕間の内容を考えたり覚えたりするのは大変だったけど、あなたが主役に出る人たちが一生懸命やっている姿を見て、私たちも全力でやらなければと思いました。本番では、みんなに楽しんでもらうことができたので良かったと思います。

私は東中祭実行委員長として多くのことを学びました。この学びをこれからの日々の生活に生かして成長していけるようにしたいと思いました。

金賞は3年4組、2年2組、1年1組 ～合唱コンクール～

10月28日(金)、29日(土)、東中祭を行い、その中で合唱コンクールを行いました。どの学年も素晴らしい歌声を響かせました。3年生にとっては最後の合唱コンクール。前日までの練習では、指揮者や伴奏者が細かな点まで級友に指示していました。それを聞く生徒も素直に聞き入れ互いに磨き合っている様子が伺えました。まさに校訓「自修」の実践で素晴らしいと感じました。コンクールでは、それぞれの学級から、曲想や曲の解釈が発表され、よく曲を理解した上での合唱でした。強弱、緩急をつけた素晴らしい合唱で、どの学級が金賞をとってもおかしくないででした。昨年も素晴らしい合唱でしたが、それをさらに上回るレベルの高いコンクールになりました。それに聴き入る全校生徒や保護者や地域の方の態度も真剣でした。上級生の合唱から多くのことを学び来年につなげようとの思いを強く感じました。大変な接戦の末、以下のとおりの結果となりました。

合唱コンクール結果

- <3年の部> 金賞 4組「消えた八月」
銀賞 3組「信じる」
- <2年の部> 金賞 2組「輝くために」
銀賞 5組「自分らしく」
- <1年の部> 金賞 1組「僕らの奇跡」
銀賞 3組「Let's Search for Tomorrow」
- <最優秀指揮者賞> 杉 美咲(3-4)
- <最優秀伴奏者賞> 石川日菜(3-2)



まなびさぽーと科学研究の発表 ～各学年努力賞の受賞作品～

夏休みに理科自由研究で取り組んだ作品の中で、市の科学コンクールで入賞した2作品を発表しました。今年は市のコンクールで加藤夕詠(3-4)さんの作品「飛べぬなら 保護してやろう ツバメの子」が優秀賞をいただきました。まなびさぽーと研究での入賞では、とても珍しい観察記録部門の作品です。たまたま巣から落ちた雛を助け、世話をして自然に帰すまでの観察記録です。昨年は本校での最高の賞が準優秀賞でしたので、一歩前進です。きっとこの発表が、1, 2年生の刺激となり、来年の市の最優秀賞につながることを期待します。



英語スピーチ、エドモンズ海外派遣報告

市内英語スピーチコンテストに学校代表として出場した生徒がスピーチを披露しました。最近7年間では初めて優秀賞を受賞し西三出場を決めました。そのスピーチ「I Want be a Comic Artist」をはじめ、それぞれが作文し練習してきた成果を発表しました。身振りをまじえ、堂々として流暢に発表されるスピーチを耳にして、全校生徒も感心しきりでした。スライドにより日本語訳が示され、その内容に共感する生徒もたくさんいました。

- 諸田ライ明美(2-4)「The Wall」
- 岩田祐哉(3-5)「Escape from Japan」
- キノベ補(3-3)「I Want to be a Comic Artist」
- 仲本実百合(3-5)&杉美咲(3-4)「Rakugo in English」

また、今年、本校からエドモンズ派遣に4人参加しました。参加した榊原雅(3-5)さん、小笠原光梨(3-5)さん、溝口莉子(3-5)さんが、エドモンズのホームステイでの様子やそこで体験したことを発表しました。

新聞切り抜き作品コンクール

本校は、新聞切り抜き作品作りに取り組んで今年で10年目になります。今年の最優秀賞、優秀賞の受賞者及び作品タイトルは以下のとおりでした。今年は、時勢を反映して「自然災害」「世界平和」「ヒアリ」に関するものが多く集まりました。

新聞切り抜き作品コンクールの結果

- 最優秀賞 佐古歩未(3-2)「いじめ～無理しないで！わかってくれる人はいる～」
- 杉山歌野(2-1)「豪雨の度に流れる涙」
- 園田悠清(1-1)「高度医療が救う命～2017～」
- 橋爪輝(2-7)「ワンちゃん大好き」
- 優秀賞 加藤夕詠(3-4)「北の脅威 理解してる？」
- 祖父江莉子(3-4)「命の重さは何g？」
- 飯嶋瑠奈(3-5)「ヒアリを REPEL せよ！」
- 永井愛那(3-5)「繋ぐ 72年目の平和のバトン」
- 仲野花優(3-5)「世界平和を願って」
- 小笠原優衣(2-1)「晴れのちくもりときどき雨～日本の異常気象～」
- 松尾桃(2-2)「子どもが危ない～気づこう危険のサイン」
- 黒田実由(2-3)「どうなる！？この世界」
- 池田萌恵(2-5)「恐怖！自然災害！～過去から学び未来へ活かす～」
- 〇〇〇〇(2-7)「大雨はらん」
- 伊藤櫻子(1-1)「犯罪は消えるのか？～世界で起こる犯罪～」
- 坂田実優(1-4)「日本が1つになって 協力 九州豪雨」
- 高橋咲季(1-5)「交通事故 多発」
- 久田果穂(1-5)「命～とつぜん消えた いつもの笑顔～」